

1999年3月

報道各位

## 《平成のキッチン - フライパンと電子レンジ が大活躍！》

～今どきの調理スタイルに関する調査より～

社団法人日本能率協会グループの運営するメンバー制ビジネス情報提供サービス機関マーケティング・データ・バンクでは、首都圏在住の20～50代の主婦1,400人を対象に「今どきの調理スタイルに関する調査」を実施いたしました。

家庭で食品が食卓にのぼるまでには、買い物、保存、下ごしらえ、味付け、加熱、盛り付けとさまざまなプロセスがあります。近年、調理しやすい食材や調味料が開発され、高性能の調理器具やシート類なども数多く出まわり、日本の従来の調理スタイルは新しいスタイルへと変化してきているのではないかと考えられます。本調査は、既存の調査資料では見えにくい食品の購入から食卓にのぼるまでのハンドリングに焦点を当て、食料品の購入、調理機器・家電の保有・使用、ご飯の炊き方や調理方法、電子レンジの使用、食品の保存、調理態度・意識等について実態を明らかにしました。

今回はその中からフライパンと電子レンジに焦点を当て、今どきの調理スタイルをご報告いたします。

〔本件についてのお問い合わせ先〕

(株)日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク

担当：野元 / 土井 / 仁科

電話：03 - 3578 - 7556

〒105-0011 東京都港区芝公園3 - 1 - 38 秀和芝公園3丁目ビル4F

本件引用の際は、お手数ですが、上記あて掲載紙をご送付ください。

# 今どきは何がなくても『フライパン』

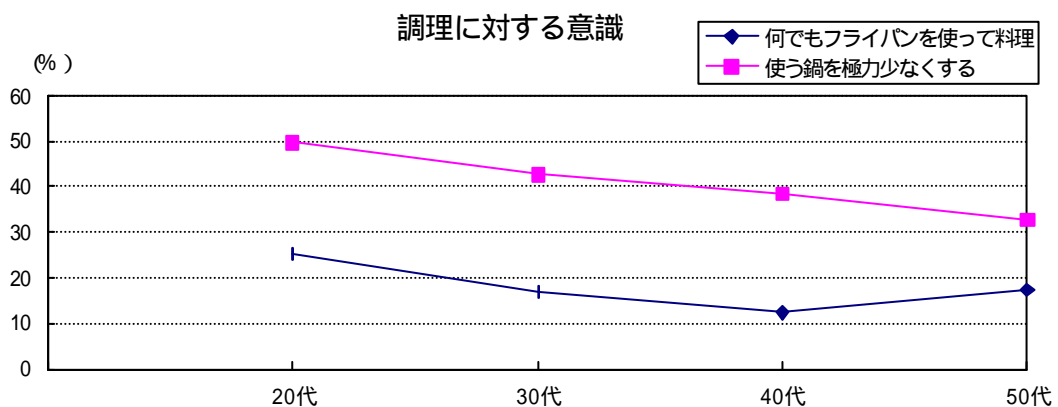
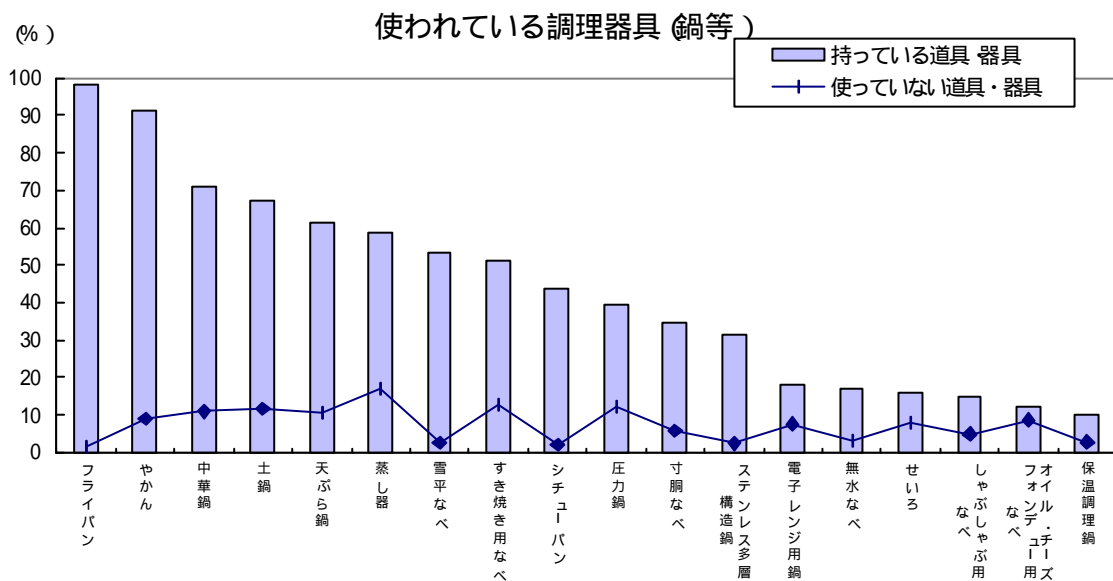
## 20代主婦の必需品

調理器具や道具など 66 項目について保有率を聞いたところ、トップが「フライパン」で 98%、フライパンを使っていないと答えた人は 2% にすぎなかった。「フライパン」はどの家庭でもよく利用されており、今どきの調理器具の主役といえる。

さらに、調理に対する意識を聞いた中で「何でもフライパンを使って料理する」「使う鍋を極力少なくする」という項目を選択した人は、全体でそれぞれ約 2 割・4 割となっている。

20代と50代を比べてみると、「フライパン」の保有率や使用率に関してはさほど差はみられないが、意識の面では20代は50代を上回っており、「何でもフライパンを使って料理する」が約10ポイント、「使う鍋を極力少なくする」は約20ポイント高い。

普段多い調理方法を聞いた中でも、20代は「炒める」「炒めもの以外のフライパン料理」に関しても全体平均を上回っており、フライパン中心のクッキングスタイルがうかがえる。



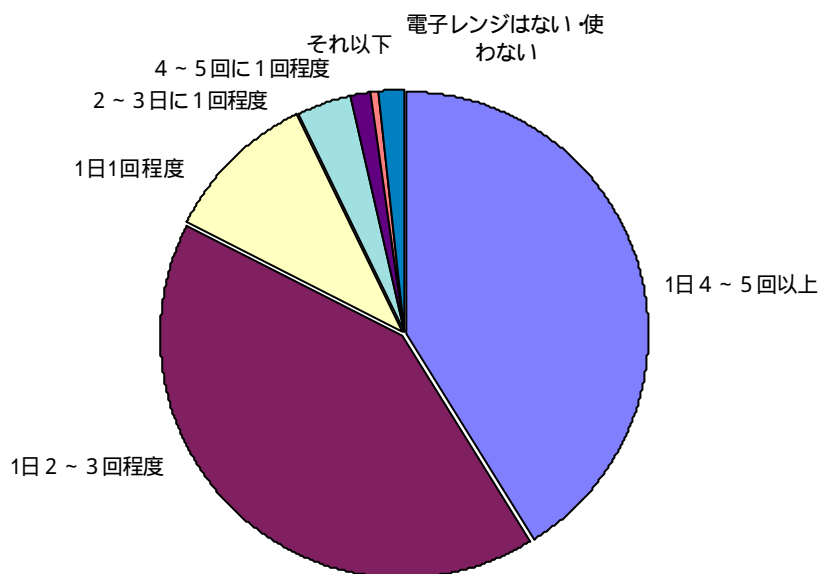
## 毎日よく使う電子レンジだが 「ゆでる」「蒸す」「揚げる」のレンジ調理は普及途上

電子レンジの保有率は、温め専用タイプが約2割、オープン機能付きが約8割と多機能タイプが主流になっている。利用頻度をみると「1日4～5回以上」と答えた人は約4割。「1日1回程度」以上、つまり毎日利用している人は約9割。電子レンジは、今や家庭になくてはならないものになっている。

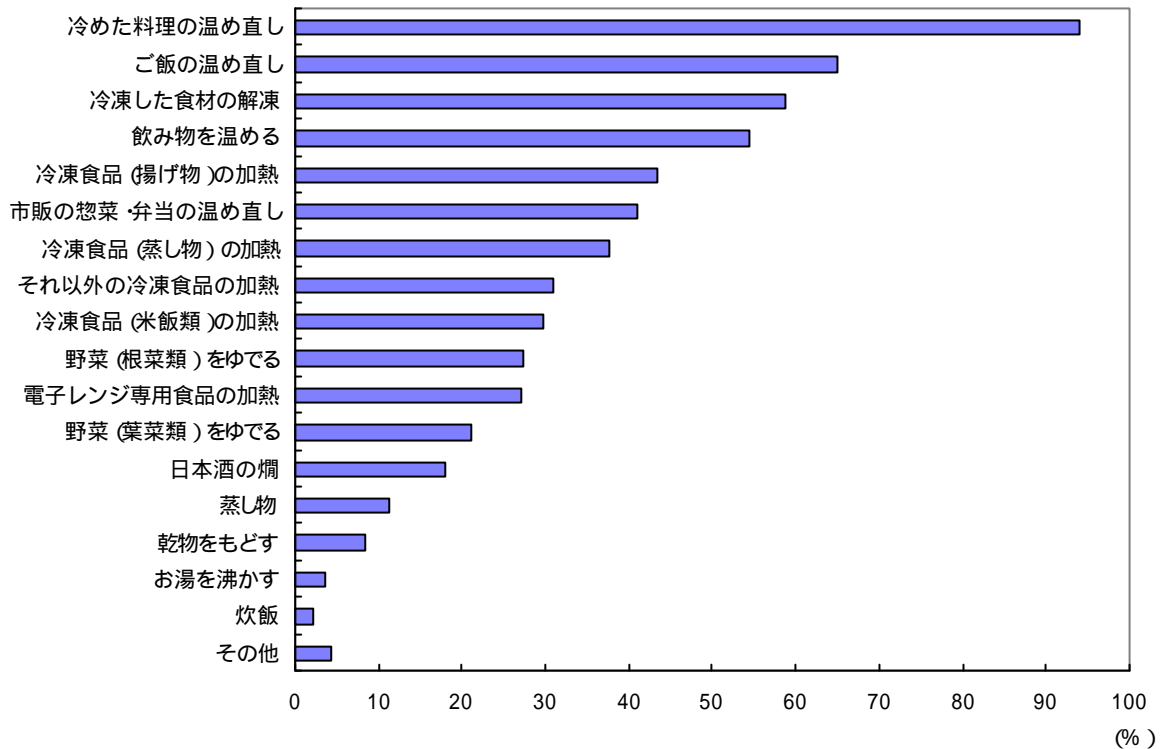
電子レンジの用途については、9割以上の人から「冷めた料理の温め直し」と回答が得られた。以下半数以上の回答があったのは「ご飯の温め直し」「冷凍した食材の解凍」「飲み物を温める」。電子レンジはよく使われているが、多いのは「温め」の範囲で、「ゆでる」「蒸す」「揚げる」といった調理や下ごしらえにはまだ十分利用されていない。

年代別にみると、用途17項目中12項目が30代・40代が他の年代より回答率が高くなっている。電子レンジをいろいろな用途に使いこなしているのは、30代・40代であるといえそうだ。

電子レンジの利用頻度



## 電子レンジの使い方



### 【今回の調査について】

「今どきの調理スタイルに関する調査」は、一般家庭の食料品の購入から食卓にのぼるまでの実態をとらえるため、食料品の購入、調理機器の保有・使用、ご飯の炊き方や調理方法、食品の保存、調理態度・意識等について調査を実施いたしました。

本調査は、弊社自主企画による調査に複数企業にご参加いただく方式で実施いたしました。調査は終了しておりますが、調査結果一式のご提供は下記費用を申し受けます。

- ・費用：1社につき定価36万円(MDBメンバーは32万円) \*別途消費税を申し受けます。
- ・調査対象：首都圏(一都三県)在住の20～50代の主婦
- ・調査方法：日本能率協会総合研究所「J-FAXリサーチ」システム利用によるFAX調査
- ・有効回収数：1,081サンプル(発送数1,400サンプル 有効回収率77.2%)
- ・調査実施日：1998年12月10日～15日
- ・調査のアウトプット
  - 調査報告書 (A4版 38ページ)
  - 集計結果表 (A4版 221ページ)
  - ・調査概要 ・調査票 ・単純集計表
  - ・クロス集計表 年代/結婚歴/職業/年齢5歳/家族人数/家族形態/同居している子供の有無/食費/夕食準備時間/調理の態度・意識

**「マーケティング・データ・バンクとは」**

マーケティング・データ・バンクは、社団法人日本能率協会グループのシンクタンク、株式会社日本能率協会総合研究所（略称：日能総研 社長：高地高司 本社：東京都港区）の運営する、国内最大級のメンバー制ビジネス情報提供サービス機関です。

開設以来30年近く、日本を代表する様々な業種の企業約2,000社の企画／調査／営業／技術部門の方々にご利用いただいております。官庁統計、公開調査資料、業界紙、各種民間企業発表資料など約12万冊の蔵書を有し、独自の検索システムを構築いたしております。

各種業界事情に通じ検索手法をマスターしたスタッフにより、さまざまなビジネスデータを提供することが可能です。

電話1本で必要な情報を入手できるシステムとして、年間約12万件のメンバー企業のお問い合わせに的確、迅速に対応し、情報収集のパートナーとして高い評価をいただいております。

**「本件についてのお問い合わせ先」**

（株）日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク

担当：野元／土井／仁科

電話：03 - 3578 - 7556

〒105-0011 東京都港区芝公園3 - 1 - 38 秀和芝公園3丁目ビル4F

**本件引用の際は、お手数ですが、上記あて掲載紙をご送付ください。**